

繁藤月報

〒 789-0583

高知県香美市土佐山田町平山 1748

天理教 繁藤大教会

TEL 0887-57-9207 / FAX 0887-57-9246

金子みずぐと「元の理」

こふきのひろめシリーズ vol.6

◆まだ前提が足りない

「こふきを作れ」との教祖のお言葉を受け、明治14年から20年にかけて教祖の高弟^{こうてい}たちが残した書き物は、いわゆる「こふき本（こふき話）」と呼ばれている。

これら「こふき本」の冒頭は、「この世の元^{もと}初^{はじ}りは、どろ海であつた。」という内容から始まる。そして、元なる神「月日」の話へと入っていく。

今回はようやく「こふき」における「元初りの話」や「元の理」の内容に入っていく予定だった。

- ・どろ海とは？
- ・月日とは？

しかし、いざ解説を書いてみると、「このまま進めて

いいのか？」という大きな違和感が生まれた。本題に入る前に、まだ皆さんと共有できていないことがあるのではないか。再び前提の話になるが、今回は「こふき」の根源にふれる内容にもなるため、どうか最後までお付き合ひいただきたい。

◆解釈、翻訳、解説

現存する「こふき本（話）」を

そのまま読むと、難解な事柄が多々出てくる。そこで必要になるのが、解釈・翻訳・解説である。

- ・解釈とは、受け手の視点に基づいて捉えて理解すること。
- ・翻訳とは、書かれた文章や意味を、別の言葉に置き換えて表現すること。

- ・解説とは、物事をわかりやすく説明すること。



「こふき本(話)」に書かれている言葉や内容を自分なりに解釈する。

つまり、現代の感覚で理解する。その感覚に基づき、別の言葉に置き換えて表現し、わかりやすく要旨を編集していく。このスタンスで果たして良いのかという違和感が、私の中で生じたのである。

宗教にかかわらず、安易な解釈・翻訳・解説は、様々な弊害をもたらすことがある。今回でいえば、ややもするとただのおとぎ話のような捉え方になってしまう恐れがあるのではないか。あるいは、現代科学という物差しに照らし合わせて、正しいかそうでないかを早計に判断してしまう恐れさえあるのではないか。

そもそも、解釈・翻訳・解説はあくまで手段にすぎない。皆さんと共に「こふき」を味わい、ひろめていくことこそが最初の目的だったはずだ。

◆金子みすゞの詩

理解ではなく、味わうこと。そのためには、「元初りの話」や「元の理」の輪郭をつかむ必要がある。

そのために、ある詩を紹介したい。お道の方ではないが、あの有名な金子みすゞの詩である。

『蜂と神さま』

蜂はお花のなかに、
お花はお庭のなかに、
お庭は土塀のなかに、
土塀は町のなかに、
町は日本のなかに、
日本は世界のなかに、
世界は神さまのなかに。
そうして、そうして、神さまは、
小さな蜂の中に。

金子みすゞ名詩集 「金子みすゞ」

小さな蜂の命は、世界と一つにつながり、すべては神様の大きな懷に抱かれている。そして、蜂という小さな生命の中に神様が



る。これ以上、詩の解説をするというのは野暮になるだろう。これほど神様の世界、神様の物語をわかりやすく朗らかに表現してくれる詩もそうそうない。私が大好きな詩である。ぜひ声に出して詠んでみてほしい。

◆一つは全て、全ては一つ

この詩になぞらえて、「元初りの話」「元の理」を私なりに表現するところだ。

・この世の初まりのお話は、人間の身体の御守護とつながる。

・人間の身体の御守護は、この世におけるすべての事象・営みへとつながる。

・すべての事象・営みは、元初りという過去から現在、そして未来へとつながる。

・過去・現在・未来は、人間がなんのために生まれ、どう生きるのかという根源につながる。

・なぜ生きるのかという根源は、親神様の思召、そして教祖のひながたへとつながる。

・教祖のひながたは、人間救済のための手立てである「おつとめ」へとつながる。

・そして、おつとめこそ、この世の初まりのお話につながる。

どの点を切り取っても、すべてつながり合っている。一つは全てであり、全ては一つである。そして、それらすべての根源・元は一つである。これこそが元の理である。

「元初りの話」「元の理」という神様の物語を味わい、そして今も続く神様の物語の中で共に生きていく。これができたら、どんなに素晴らしいだろうか。

これまでの連載において、皆さんと最も共有しなかったのが今回の内容である。連載も6回を数え、未だに本題に入っていない遅々とした歩みであるが、どうかこれからも飽きずにお付き合いいただきたい。

立教一八九九年八月一日

天理教繁藤大教会長

坂本輝男

【立教百八十九年 七月月次祭 祭文】

これの繁藤大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教
繁藤大教会長坂本輝男慎んで申し上げます。

日々は天地抱き令わせたの親神様の懷に、豊かな御恵みを充分に頂戴して、結
構に恙なくお連れ通り頂きまして、誠に有難うございます。更には又、一列子
供の成人をお待ち望み下さる深い親心から、時に臨み、旬に応じてだん／＼の
お仕込みを賜り、陽気ぐらしへとお導き下さいます御心尽しの程、勿体ない限
りでございます。私共はそれぞれの持場、立場を生かして、日々勇んでたすけ
一条の道を歩ませて頂いておりますが、その中にも今日この日は、当教会に御
許し頂く月次祭の日柄を迎えましたので、只今からおつとめ奉仕者一同心を
一つに合わせ、座りづとめ、てをどりをとめて、七月中元の御祭を執り行わせ
て頂きます。御前には、折柄の暑さの中もとわず寄り集った縁の道の子供たち
が、常日頃より賜る御厚恩にこと改めて御礼申し上げ、尚も変わらぬ御守護
にお縫りする真実の状をも御覧下さいまして、親神様にもお勇み下さいます
ようお願い申し上げます。

尚、おぢばでは今月二十七日から来月三日まで恒例のこともおぢばがえりが
開催され、さらに来月九日から十三日にかけては学生生徒修養会高校の部が
開催されます。おぢばで大きな親心をおかけ頂けるこの機会を最大限に活か
し、道の将来を担う次世代の子供達に對して、丹精の誠を尽させて頂く所存
で御座います。親神様には何卒、至らぬところは裁重にもお仕込み下さいまし
て、この上共に陽気づくめの世の状へとお導き下さいますよう御守護の程を、一
同と共に慎んでお願い申し上げます。

《繁藤大教会 立教百八十九年七月月次祭 祭典役割》

祭主	大教会長	八足出し		佐々木恵
指図方	為田紀久男			田村省悟
扨者	村上英士	藤田誠		村上由高
扨者	空閑一教			空閑慶吾
賛者	佐々木恵	てをどり前半		高橋道則
賛者	高橋道則			藤田誠
男	座りづとめ	てをどり後半		大教会長
女	前大教会長			伊藤正福
地方	田村辰久	高橋道則		村上修
	大教会長夫人			黒石美佐
笛	前会長夫人	武市まち子		空閑真理代
	黒石伸子			阪本喜代子
チャンポン	坂本久徳	村上英士		空閑慶吾
	空閑一教			前田豊
拍子木	佐藤節幸	竹下隆廣		黒河明大
	佐藤栄治			坂井博文
太鼓	為田紀久男	土居道久		藤田慶一郎
	藤田憲明			秋月英希
すりがね	空閑一将	村上由高		藤田善典
	田村久徳			黒石忠宏
小鼓	立花真一郎	黒石省悟		立花孝一
	宮田孝道			宮田みなみ
三味線	佐藤文代	空閑都		田村育与
	佐藤順子			田村睦美
胡弓	坂本喜子	坂本喜子		田村睦美
	田村久徳			田村睦美
神殿講話	坂本久徳	坂本喜子		田村睦美
				田村睦美

【神殿講話】

(8月) 安部道郎

【しげとtime おかえり講話】

(8月) 田村睦美

テーマ「生きてるだけで丸もうけ」

【教会長神殿当番】

(8月) 関守・高昭

(9月) 桂濱・細島

【教養係】

(9月) 空閑慶吾

(10月) 渡辺道仁(前半)

立花真一郎(後半)

【詰所事務当番】

(8月) 黒河明大

(9月) 平野正敏

【ひのきしん】

○本部食堂ひのきしん(11月1日～15日)

別府分教会

○婦人会詰所ひのきしん(8月25日～26日)

西田川分教会 2名

【任命】

去る7月26日、紋別分教会(本山部属)では、渡邊朝之氏が五代会長の理の御許しを戴かれました。

就任奉告祭10月31日



【婦人会】

○みちのだいおはなし会

日時 9月26日(土) 午後1時～2時

場所 南右第二棟陽気ホール

講師 中山祥吉先生(学生担当委員長)

テーマ 「お道っていいよね」

おちばってあったかいよね」

・託児はありません

○第31回女子青年大会

・日時 11月1日(日) 午前10時

・場所 本部中庭

▽おやさとマルシェ

大会前夜におやさとマルシェが開催されます。

・日時 10月31日(土)

夕づとめ後～午後8時

・場所 東・西泉水プール前広場

※ぜひ女子青年の方に、ご参加頂けますようお声がけをお願いいたします。

【一れつ会より】

令和9年度大学扶育生志願要項・天理高校一部扶育生志願要項が発表されました。

天理教一れつ会のホームページ

(<https://ichiretsukai.tenrikyo.or.jp/>) から、要項

・願書をダウンロードして、所属教会(上級教会)・大教会長様の印鑑を頂いて、レターパックライトで郵送で申込みをして下さい。

提出先、受付期間は次の通りです。

《扶育願書提出先》(天理高校第二部を除く)

〒632-8679 天理市守目堂町213-4

おやさとやかた真南棟3階

天理教一れつ会扶育願書係

※レターパックライトでの郵送のみ受け付けます。

《扶育願書受付期間》(天理高校第二部を除く)

10月1日(木)～10月31日(土)

要項を確認頂いて各自で願書作製を御願

いたします。不明な点等があれば一れつ会担

当 田村久徳(垣生会長)までお問い合わせ

下さい。

※志願要項ならびに扶育願書の紙媒体での配布、郵送はありません。各自でダウンロードして下さい。

【布教部より】

9月は『にをいがけ強調の月』です。
また、本年は9月1日～9月7日まで『教会長布教実働週間』となっております。
つきましては教会長夫妻を対象にブロック別に、にをいがけ実働をさせていただきます。詳細は後日、ご案内いたしますので、お心づもりの程よろしくお願いいたします。

【詰所よりお願い】

○修養科受入月

大教会では今年から修養科の受入月を、4・9月の年2回とさせていただいております。今年2回目の受入月であります9月の申し込みが今月25日までとなっておりますので、修養科志願予定の方は、お早めにお手続きの程、よろしくお願いいたします。

○詰所下足室置き靴について

詰所玄関横の下足室に、置き靴が増えて参りました。しばらく使用されていない靴も見受けられます。一度詰所の方で別に保管させて頂きます。ご入り用の靴がありましたら、事務所までお声がけ下さい。今年中保管させて頂き、誠に勝手ながら申し出がなければ処分させて頂きますので、よろしくお願いいたします。

第31回

女子青年大会



友達誘って おやさとぢばへ

～ 伝えよう 私たちから み教えを ～



立教 189 年
2026 年

11/1 日

式典 ▶ 午前 10 時 本部中庭
記念行事 ▶ 式典終了後 支部の時間
～ 話そうみんなで～



別席

おぢばに帰らせて
いただくこの機会に
別席を運びましょう。
また、別席者のご守護を
頂きましょう。

記念行事

おやさとマルシェ

時間 / 夕づとめ後 ～ 午後 8 時
場所 / 東・西泉水プール前広場

各地の美味しいものや
雑貨などの模擬店を
楽しもう！

10/31
土

天理教婦人会

7月の仕切り月

3日 百春分教会
5日 奈井江分教会
5日 長濱町分教会
6日 細島分教会
8日 豊養分教会
18日 百生分教会

8月の仕切り月

9日 高昭分教会
13日 藤高分教会
15日 板櫃分教会
15日 富久地分教会
16日 西田川分教会
16日 城幡分教会
16日 本川分教会